

鶴田小学校いじめ防止教育全体計画・いじめ防止基本方針

学校教育目標 夢に向かって力強く歩む、心豊かでたくましい子どもの育成		
家庭・地域との連携 学校便り, 学級便り, 全体PTA, 学級PTA, 家庭訪問, 家庭教育学級	【いじめ防止対策委員会】 ○目的 いじめの防止, いじめの早期発見及びいじめへの対処等に関する措置を実効的, 且つ組織的に行う。 ○主な活動 ・学校楽しいーと, いじめ実態調査アンケート実施 ・学校楽しいーとやいじめに関する職員研修の立案・実施 ・いじめ防止, 早期発見・対応, 再発防止等について必要な事項 ○組織構成 校長, 教頭, 生徒指導主任, 学級担任, 養護教諭必要に応じてSSW, PTA会長, 公民館長等	関係機関等との連携 各小中学校, 幼稚園, 保育園, 町役場, 町教委, 北薩教育事務所, 県総合教育センター, 警察署, 報道機関等
○教育活動の重点 ★ 教師一人一人が分かりやすい授業を心がけ, 児童に基礎・基本の定着を図ると共に学習に対する達成感・成就感を育て, 自己有用感を味わい自尊感情を育む。 ★ 思いやりの心や命の大切さを育む道徳教育や学習指導の充実を図る。 ★ 児童一人一人が認められ, お互いに相手を思いやる雰囲気作りに取り組む。 ★ 「いじめは絶対に許されないことである。」という意識を教育活動全体を通して指導する。 ○児童の主体的な活動 ・児童会によるいじめ防止についての話し合い(スローガンや標語作成, 自他のいいところ見つけるなど)	【いじめの防止】 1 教職員の取組 (1) 分かる授業づくりで確かな学力の定着を図る。 ・日頃の授業改善と一人一回の研究授業実施 ・さつまの3構えの指導徹底 (2) 教師自身の言動に留意する。 ・不適切な認識や言動, 差別的な態度 (3) いじめ問題を考える(日)週間の充実を図る。 ・いじめ実態調査アンケート実施 ・全校朝会講話, 学校だより等での情報発信 (4) 自己有用感を育てる。 ・全ての児童に活躍できる場面を設定する。 (5) 日頃からの児童の見守りと信頼関係の構築を図る。 (6) 情報モラル教育の推進(SNS等でのいじめ防止) 2 児童の取組 (1) いじめを許さない・見過ごさない気持ちをもつ。 (2) ストレスマネジメント(ストレスに対処できる力)を身に付ける。 (3) いじめ問題を自分たちの問題として受けとめ解決方法を身に付ける。 ・児童会によるいじめ防止の取組(スローガンや標語作成など) 3 保護者の取組 (1) 生活の様々な機会を通し善悪の判断を育成する。 (2) 子どもの頑張りをしっかり認めて褒め, いけないことはしっかり叱る。 (3) 子どもに関心をもち, 寂しさやストレスに気付くようにする。	○生徒指導体制 ★ いじめはどの学級でも, どの児童にも起こりうるものであるという基本認識に立ち, 全教職員で児童を見守り, 気付いたことを共有する。 ★ 一人で問題を抱え込まず, 組織的に対応する。 ・いじめ防止対策委員会(4月, 8月, 12月) ・職員会議・朝会・担任連絡会等での情報交換 ○相談体制 ・教育相談週間(4月, 7月, 11月) ・教育相談窓口(担任・教頭・養護教諭) ・外部相談機関の周知 ○家庭との連携 ・学級PTA, 人権教育講演会 ○職員研修の重点 ★MOMの姿勢 ★いじめについての理解(構造発見法, 対処法等)を深め, 対処法を磨く。 ・グループエンカウンター等 ・SNS等を通じて行われるいじめ対策等 ・いじめ対策必携の活用 ・学校ネットパトロール事業検索結果の活用 ・SC, SSWとの連携 ・啓発資料の活用
	【いじめの早期発見】 1 教職員の取組 (1) 早期発見の体制づくりを図る。 ・健康観察や日記, 普段の様子, 周りの人からの情報を意識的・積極的に活用する。 ・いじめの早期発見のためのチェックリストを活用する。 ・何でも相談できる(いじめを訴えやすい)雰囲気をつくる。 ・保護者からの相談や地域の方からの情報収集をする。 5W1H(いつ, どこで, 誰が, 誰と, 何を, どのように)をメモする。 ・定期的なアンケートや教育相談を実施する。(「学校楽しいーと」の活用) (2) 教職員相互の児童に関する積極的情報交換と情報の共有を図る。 (3) いじめ相談電話等について広く周知を図る。 2 児童の取組 (1) いじめの実態を教職員へ報告・連絡・相談する。 3 保護者の取組 (1) 日常的・積極的な子どもとの会話に努め, 気になる様子はないか把握する。 (2) 服装の汚れや乱れ, 怪我等のチェック。持ち物の紛失や増加に注意する。 (3) 児童が発する変化のサインに気付いた時は, 早急に学校に相談する。	
	【いじめへの対処】 1 教職員の取組 (1) 特定の教職員で抱え込まず, 速やかに組織的に対応する。 (2) いじめの事実関係を把握する。 (3) いじめられた児童の安全確保と支援体制の整備を図る。 (4) いじめた児童への指導 (5) 対応の在り方及び指導方針に関する教職員間の共通理解 (6) 関係する児童の保護者への適切な情報提供を行う。 (7) 保護者や関係機関(町教育委員会, 警察署等)との連携を図る。 2 児童の取組 (1) いじめる側や傍観者にならない強い意志をもつ。 (2) いじめに気付いた場合, 学校や保護者へ通告する。 3 保護者の取組 (1) 子どもの話をよく聞くことで事実や心情の把握をする。 (2) 子どもを守る強い姿勢をもつ。 (3) 問題解決へ向けた学校の方針を理解し協力する。	

【年間計画】※ 必要に応じて 随時行う。

月	月目標	計画及び評価	実態把握等	各教科・道徳・特別活動等	児童会活動	情報モラル 関連	教育相談	職員研修
4	基本方針の確認といじめ問題を考える週間の充実	年間及び1学期の活動計画の検討 アンケート作成, 実施, 集計, 取組の検証	(学校)いじめアンケート調査実施	「いじめ問題を考える週間」の実施 人権教育の視点に立った授業実践（年間）	青少年赤十字登録式	各教科における指導計画の確認 情報モラルの指導(年間)	教育相談 週間	学校基本方針の確認
5	いじめに関する情報交換に努める	実態に基づいた対応策検討 アンケート実施, 集計, 取組の検証	(学校)いじめアンケート調査実施				教育相談	具体的な対応の在り方
6	アンケート調査等の結果から実態把握, 教育相談の充実	アンケート実施, 集計, 取組の検証	学校楽しいーと実施 1回目				教育相談	家庭との連携の在り方
7		アンケート実施, 集計, 取組の検証	学級PTAを活用した保護者との情報交換 (町) いじめアンケート調査実施				教育相談 教育相談 週間	
8	いじめ問題についての研修, 対応策について見直し	取組評価アンケート集計, 取組の検証, 2学期の活動計画の検討						生徒指導 事例研修
9	いじめ問題を考える週間の充実	実態に基づいた対応策検討 アンケート実施, 集計, 取組の検証	(学校)いじめアンケート調査実施	「いじめ問題を考える週間」の実施	人権標語作成	携帯・ネット利用実態調査	教育相談	
10	生命尊重について考える日（授業）	アンケート実施, 集計, 取組の検証	(学校)いじめアンケート調査実施	道徳（共通主題「生命尊重」） 学級活動（共通活動「KYT」）			教育相談	具体的な対応の在り方
11	いじめに関する情報交換 教育相談の充実	アンケート実施, 集計, 取組の検証	(学校)いじめアンケート調査実施				教育相談 教育相談 週間	
12		取組評価アンケート実施, 集計, 取組の検証	学級PTAを活用した保護者との情報交換 (町)いじめアンケート調査実施		児童総会		教育相談	取組評価 結果から
1	アンケート調査等の結果から実態把握	アンケート実施, 集計, 取組の検証	学校楽しいーと実施 2回目				教育相談	具体的な対応の在り方
2	いじめに関する情報交換	取組評価アンケートの実施, 集計, 取組の検証	(学校)いじめアンケート調査実施				教育相談	
3	今年度の取り組みについての検証 来年度の目標・計画	アンケート実施, 集計, 取組の検証 次年度活動計画案作成	学級PTAを活用した保護者との情報交換 (学校)いじめアンケート調査実施				教育相談	